

こんなことあったよ！

生活介護 ひこばえ me

気持ちによりそう支援を学ぶ

2月7日（金）、全事業所合同で「意思決定支援」をテーマに虐待防止研修を行いました。

意思決定支援とは、意思決定に困難を抱える人が、日常生活や社会生活等に関して自らの意思が反映された生活を送ることが可能となるように、その人を支援することやその仕組みをいいます。

講師には花園大学の岡ひろみ先生にお越しいただき、ご自身の経験を踏まえながらお話しいただきました。意思決定支援には、利用者をよく知る事、本当はどう思っているのか感じる力の大切さなどについて、話をさせていただきました。

ひこばえを利用している障害のある方は、口頭でやりとりする方もいれば、イラストやジェスチャーを通して伝える方もいます。今回の研修を受けて、日々の支援や対応等を振り返る良い機会となりました。これからもひこばえスタッフ一同、スキルアップを目指していきます。



放課後くらぶひこばえ

卒業に向けての取り組み 地域の方に向けて

3月に入って卒業シーズンを迎えました。放課後くらぶでは4名の利用者の方が高校を卒業し、4月からの新しい生活を迎えることとなります。

放課後くらぶでは、高校卒業後の生活を思い描きながら、生活に必要な力がつけることができるよう支援を行っています。たとえば、電動髭剃りの練習をして身だしなみを整えたり、休みの日に自分の好きなことをして過ごせるように、外食やカラオケなどに自分たちで企画をして実際に行ったりしています。

学校時代を終えても、自分らしく生き生きと過ごしてほしい。そんな思いを込めて送り出せるよう、卒業まで支援に取り組んでいきたいと考えています。

うたの・ひこばえ児童館

「ドッジだけちゃうねんくらぶ」でお出かけをしました

2月15日の土曜日、気持ちのよいお天気の中、「ドッジくらぶ」メンバーの子どもたちと、滋賀南郷水産センターへお出かけしました。これは、児童館のドッジボールクラブが、「ドッジだけ“じゃない”ことも全力で楽しむ」という企画です。

南郷水産センターは釣りや滋賀県の水産について、見たり知ったりできる施設です。初めて釣りをする人もいましたが、特大のコイを1匹釣ることができ、大喜び。短い時間でしたが釣りを楽しみました。

また今回のお出かけでは、バスの時間や持ち物などを、子どもたち自身で調べ、考えて活動を行いました。道中も活動中もいっぱいおしゃべりができて、子どもたちもスタッフも「また行きたい！」と思える1日となりました。

